



パラリンピック競技デモンストレーション、体験会 ～感じよう！パラアスリートのすごさ～

パラサイクリング タンDEM自転車 乗車体験

複数人が前後に並んで乗り同時に駆動することができる自転車。



ゲスト パラサイクリングメダリスト等 協力 日本パラサイクリング連盟 山口県サイクリング協会

レース用車いす 乗車体験



ゲスト うえの ぼほる ひろかず 上與那原 寛和 SMBC日興証券所属

28歳の時、バイクに乗って帰宅していた途中に乗用車と接触、跳ね飛ばされ首を骨折し頸椎を損傷、足が動かなくなり、手にも麻痺が残る。リハビリとして誘われた事が車椅子マラソンを始めたきっかけとなる。31歳から競技を始め、パラリンピックは北京、ロンドン、リオと3大会出場。初出場した北京大会ではフルマラソンで銀メダルを獲得。12年のロンドン大会で同種目がなくなったため中短距離に転向。リオ・パラリンピックでも、100m、400m、1500mに出場。

協力 山口県車いす陸上競技連盟

障害者スポーツの体験、障害者との交流、山陽オートの活用 ～やってみよう！障害者スポーツ、楽しもう！山陽オート～

フライングディスク競技 アキュラシー体験会

粗品を
進呈します

5m又は7m先のゴールに向い、ディスクを10投し、ゴールを通過した回数を競う競技。



協力 山口県障害者フライングディスク協会

ポッチャ 体験会

粗品を
進呈します

赤又は青の皮製ボールを投げ、白い的球にどれだけ近づけられるかを競う競技。



協力 山口県ポッチャ協会 山口県障がい者スポーツ指導者協議会

ジロ・デ・山陽オート 2017

健常者と障害者が一緒に自分の自転車で山陽オートのレースコースを走行。



参加者は、整備済の自転車と自転車用ヘルメットを持参すること

ゲスト パラサイクリングメダリスト等 協力 山口県自転車競技連盟 山口県サイクリング協会

ランニングバイク 体験会

ペダルもブレーキもないキッズバイク。



協力 サイクリング・サロン・ヒロシゲ 山口県自転車競技連盟 日本写真判定株式会社

- ・参加者は、必ず運動のできる服装、靴で参加し、タオル、飲食物等の必要なものは各自で用意すること。
- ・安全については、自己の責任において十分留意すること。
- ・大会当日は、会場内に新聞社等の報道関係者や大会関係者が撮影を行うことがあり、この場合、個人の写真・映像が、新聞・テレビ等に出るほか、大会のポスター等に使用されることがあるが、参加者は、この点について了解したものとみなす。

主催 山口県、公益社団法人山口県障害者スポーツ協会、山陽小野田市

主管 一般社団法人日本パラサイクリング連盟、山口県サイクリング協会、山口県車いす陸上競技連盟、山口県障害者フライングディスク協会、山口県ポッチャ協会、山口県障がい者スポーツ指導者協議会、サイクリング・サロン・ヒロシゲ、山口県自転車競技連盟

後援 ブリヂストンサイクル株式会社、日本写真判定株式会社、一般社団法人全日本オートレース選手会山陽支部、山口県教育委員会、山陽小野田市教育委員会、一般社団法人山口県身体障害者団体連合会、一般財団法人山口県手をつなぐ育成会、山口県精神障害者福祉会連合会、公益財団法人山口県体育協会、NHK山口放送局、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、KRY山口放送、山口ケーブルビジョン株式会社、山口新聞社、中国新聞防長本社、毎日新聞社、朝日新聞社、読売新聞西部本社、宇部日报社、山口銀行、西京銀行、SMBC日興証券（順不同）

大会事務局 公益社団法人山口県障害者スポーツ協会

〒753-0072 山口市大手町 9-6 山口県社会福祉会館 4階 TEL：083-901-4065 FAX：083-901-4064